

さわらび

帯 広 北 高 校
図 書 局 発 行
No.4

平成30年12月19日

平成最後の冬休み

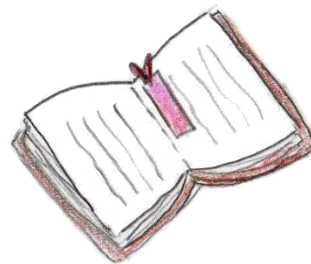


スポフェスも終わり、もうすぐ平成最後の冬休みがやってきます！今までに、様々な行事ごとがありました。みなさんは、どれが一番印象に残っていますか。



全道 活動報告

奨励賞受賞！！！！！！！！



私たちは10月に札幌市で行われた、高文連全道図書研究大会に参加しました。2泊3日の日程でした。自分たちが作ったしおりを他の学校の図書局員に渡したりしました。沢山の図書局員と交流することが出来たので良かったです。また、さわらびで奨励賞を取ることが出来て、とても嬉しかったです。



全体講演

全体講演では、小説家の島田雅彦さんが「誤読の自由、自由であるための読書」という題でお話して下さいました。私は普段、本に描写されたそのままの文章をそのまま読んでいました（誤読しているかもしれません！）が、島田さんのお話を聞いて、仮説を立てて読んだり、普段とは違う目線から読書をする、そのままの文章を読むよりも、もっと深い、もっと楽しい読書ができることに気がきました。他の人と本の感想を話し合い、もし仮に解釈が食い違っても、そんな見方があるのだと、自分には見い出せなかった面白さを再発見できると思いました。皆さんもこの方法を用いて、様々な目線から読書を楽しんでみて下さい。

各分科会報告

第2分科会

第2分科会では本の紹介文の書き方などを学びました。色々な高校の人達と話し合いながら、どのような文章を作ったら、読み手に伝わるのかなどを考えながら紹介文を書きました。お菓子を食べたり、少し談笑をしたりと、とても楽しく考えることができました。そのおかげで私の文章力も少し上がったと自分で思っています。本の紹介文をじっくり読んでほしいです！（武田）

第4分科会

第4分科会では豆本作りを行いました。豆本とは、その名の通り縦5cm、横4cmの小さな本のことです。完成形はハードカバー本のような本格的な本の形になりました。豆本は図書館内に展示しようと思っています。製作中も他校の局員との交流も出来て、とても楽しく製作することができました。（尾野）

第5分科会

私は「図書館ディスプレイを作ろう」という分科会に参加しました。テープリボンを規則的に折って立体的な星を作ったり、分厚い画用紙を本などの様々な形に切り取ってタイトルを決めて飾り付けをしたりして、実際に図書館にディスプレイとして使っています。他校の図書局の方たちと一緒に和気あいあいと取り組み、とても良かったです。（廣瀬）

第8分科会

私は、絵本セラピーについて学びました。絵本セラピーとは、ご年配の方や大人の人に絵本の読み聞かせをすることです。大人が絵本を読むと子どもを読むのとは考え方が変わってくると私は思いました。絵本の持ち方、読み方などを教わる事が出来て良かったです。絵本は、どの世代の人達を読んでも面白いと思うので皆さんも絵本を手にとって読んでみて下さい。（高子）



図書委員研究集会



10月18日に帯広市とかちプラザで図書委員研究集会があり、行ってきました！

講演会や川柳作りをしました。

講演では、絵本のすごさや他にも沢山のことを学んできました。

すごく勉強になり、面白い講演会でした。

川柳作りでは新聞の記事を使い五・七・五を作るというものでした。他の高校の人たちと班を組み、面白い話をしながらとても楽しく川柳を作ることができました！すごく楽しかったです！

良い経験をすることができました。



クリスマスイベント開催中です！

今、本を1冊借りると付録をプレゼントします！！かわいいポーチだったり、バックだったり、日常で使えるものなど良いものが沢山あります！ぜひ、本を借りに図書館に来て下さい。待ってます！！



図書館ノート

この図書館ノートでは、生徒たちのたくさんの書き込みがあります。図書館に対して他にもなんでも書いて良いノートなのでたくさんの書き込みお待ちしております！！図書館に無い本で読みたい本があれば、この図書館ノートに作品名、作者名を書いてください。その要望に図書館はできるかぎりお答えしたいと思います。

カウンターのとこにありますのでぜひ、書き込みを！

たくさんの書き込みお待ちしております！！

山田悠介さんの本



今月中高生に人気の山田悠介さんの本を紹介します！

『アバター』 山田悠介・著 角川書店

このお話は、主人公の阿武隈川道子が、「アバQ」というSNSサイトに翻弄され、ありえないほどに狂ってしまうお話です。

サイト内での「超レアアイテム」は、現実世界での権力となり、日常生活をも変えていきます。そんな中、道子は、超レアアイテムを手に入れるため、人を騙してお金を盗んだり、更には人を殺したりと、法を犯すことにさえためらいを無くしていきました。そんな道子の行動にはどこか現実感がなく、度々ぶっとんでいるなど感じました。

それでも道子の最後が気になり、ついつい読み進めてしまうお話です。映像化もされている有名な作品なので、既に読まれている人も多いかもしれませんが、朝読書のときなどに読んでみて下さい。(尾野)

『パズル』 山田悠介・著 角川書店

謎の武装集団に占拠されてしまった超有名進学校。占拠された校内では犯人たちが特別クラスの15人の生徒たちに人命をかけた勝負を申し込む。勝負の内容は、武装集団が校舎のさまざまなところに隠された2000ピースものパズルを特別クラスの生徒だけで48時間以内に探し出すというお話となっています。

登場人物が多めですが、次の展開が気になり、サクサク読めます。児童書籍にもなっているので、比較的読みやすい作品だと思います。

パズルは完成するのか、武装集団の本当の目的とは何なのか、推理しながら読むのも楽しいと思います。ぜひ、読んでみて下さい。(尾野)

冬休み期間の本の貸出

- ・返却日は1月16日（始業集会の日）です。
- ・冬休みの本の貸出は1人10冊までとなっています。

この冬休みにたくさん本を読みましょー！！

編集後記

今回のさわらびは少し遅い発行となりましたが、10月4、5日にあった全道大会の報告がメインの活動報告となりました。そして、10月18日に行われた図書委員研究集会の報告も少しばかり書かせていただきました。そして、クリスマスイベントを行っています！左に書いたとおりですが、冬休みまで本の付録をプレゼントしています。ぜひ、図書館へ来て下さい！

来月のさわらびもお楽しみに！